

## 会のあり方検討「step3：活動の充実」の実施報告と提言

### I 実施報告

#### (1) 開催実績<sup>1</sup>

| 日時 |     |             | 内容                    |              |
|----|-----|-------------|-----------------------|--------------|
| 1月 | 6日  | 13:30~15:30 | ① 事業のブラッシュアップ(その1)    | @ 車座ディスカッション |
|    | 20日 | 13:30~15:30 | ② 事業のブラッシュアップ(その2)    | @ 車座ディスカッション |
|    | 30日 | 13:00~15:00 | いけまち談義 ~池上の此れまでとこれから~ | @ オンライン配信    |
| 2月 | 8日  | 13:30~15:30 | ③ 事業のブラッシュアップ(その3)    | @ 車座ディスカッション |
|    | 17日 | 13:30~15:30 | ④ 事業のブラッシュアップ(その4)    | @ 車座ディスカッション |

#### (2) 議論の概要

- ・ step1 (8~9月)「これまでの棚卸」では今後会が目指す目的を定め、step2 (10~12月)「会の整理・体系化」では目的を実現していくための組織・事業を検討した。
- ・ これらを踏まえ、step3 (1~3月)「活動の充実」では、次年度事業に関する議論を行った。

---

① 連携事業部  
活動計画の検討

「池上ファン(内外を問わず)とのつながりを生み出し、まちのエネルギーへと変えていく。」という部設置目的を実現するため、「試行的事業の実施」「定期的な勉強会の開催」「三部会事業の実施」の検討を行った。

---

② 池上まつり運営部  
活動計画の検討

池上まつりに関する今後の方向性を議論し、2/3 役員会において意見交換を行った。この議論を踏まえ、令和4年度池上まつりの実施可否の検討、令和5年度池上まつり開催に向けた再設計活動の検討を行った。

### 2 提言

#### (1) 連携事業部の活動計画

##### ① 試行的事業の実施

- ・ 後述する令和4年度池上まつりの中止を踏まえ、以下の基本方針のもと、新たな事業を試行的に実施する。

---

① 考え方 : With コロナ / 非一極集中 / 池上ファンとの連携・交流

---

② 会場 : 池上地区全体(11町会)

---

③ 日程 : 地域外からの来客を見込める時期 / 複数日

---

④ 企画内容 : 公募(まちの中から、やりたいことを出してもらおう) + ステージ企画

---

⑤ 会の役割 : プロデューサー(ex.テーマ設定、企画公募、広報、ブランド化)

---

⑥ 資金 : 企画提案者の独立採算 / 会は広報関係への支出を想定

---

<sup>1</sup> 1/30を除き、ファシリテーターとしてNPO法人CRファクトリー(豊田有希)が参加した。2/17は池上まつり実行委員長が参加した。

## ② 定期的な勉強会の開催

- ・ 池上ファンとの接点作りにおいては、何よりもまず、会への入口が必要となる。
- ・ この入口づくりにおいては、参加のハードルを低くし、まずは本催しへ興味を持ってもらうことが最も重要となる。
- ・ そのため、これを実現する活動として、前述の試行的事業の取り組みを通じた「まちや地域を題材とする“定期的な勉強会”」を実施する。

## ③ 三部会事業の実施

- ・ 感染症対策の影響がない事業については、継続実施とする（ex.青色パトロール、緑づくり）。
- ・ その他、対策を特に要する事業については、実施未定とする（ex.梅まつり、スポゴミ）。

## (2) 池上まつり運営部の活動計画

### ① 令和4年度池上まつりの中止<sup>2</sup>

- ・ 前述の「基本方針」にもとづき、令和4年度池上まつりを実施する案について、第8回役員会（令和4年2月3日）において議論した。
- ・ 当該役員会では「“まつり”と言うからには、熱気を帯びた盛り上がりが必要」などの意見が出され、従来方式の池上まつりを支持する声が多数であった。
- ・ 本議論と現下の状況を踏まえ、令和4年度池上まつりは中止とする。

### ② 令和5年度池上まつり開催に向けた再設計活動

- ・ 池上まつりについては、例年8月末の実施を見据え、年度始め（4月）から開催準備を行っている。
- ・ これまで本事業は、地域内のコミュニティづくりに成果を残してきた一方、準備期間の短さや企画参加者の限定性など、解決すべき課題も多々認識されている。
- ・ 池上まつりに関わる全ての方々が、より充実感を持って活動いただくことは、本事業の持続可能性を担保するとともに、次世代に対して、まちのコミュニティを受け継いでいくことにも繋がる。
- ・ そのため、令和5年度池上まつりの開催を見据え、これにかかる再設計活動を実施する。

<sup>2</sup> 前年度は第3回役員会（令和3年2月9日）において議論、第4回役員会（令和3年3月23日）において中止案を決定、令和2年度総会（令和3年4月書面発送）をもって正式決定した。